

第13回
日本小児腎臓病学会
若手小児腎臓医のための
パワーアップセミナー

日時 2021年10/9(土)～10/10(日)

完全オンライン開催

対象 小児腎臓専門医を目指す小児科医

参加費 5,000円

応募の要領

本紙裏もしくは小児腎臓病学会HPに掲載されている「参加者の心得」をご覧ください。チュートリアルを進め方、特に事前学習の意味を理解してください。次の①～④の分野から第一希望、第二希望を二つ選んで、事務局にメールでご連絡ください。

①ネフローゼ症候群

②腎炎

③慢性腎不全

④水電解質・尿細管疾患

参加方法

事前学習はGoogle classroomで、セミナーはZoomで行います。



受講の流れ

7月下旬	グループ分け、担当シナリオ配布 事前学習開始
10月上旬	事前学習終了、各シナリオ配布
10/9(土)	チュートリアル学習 発表準備 教育講演1-2
10/10(日)	プレゼンテーション ディスカッション 教育講演3-4

第13回実行委員長 菅原 典子（東北大学小児科）

事務局連絡先：norikos@tohoku.ac.jp

申込期間：2021/7/1（木）～7/21（水）

定員になり次第募集は終了します

<企画> 日本小児腎臓病学会教育委員会



＜教育講演＞（各テーマは予定）

森本 哲司	（東北医科薬科大学小児科）	【予定テーマ】電解質異常
稲垣 徹史	（宮城県立こども病院腎臓内科）	【予定テーマ】急性血液浄化療法
張田 豊	（東京大学小児科）	【予定テーマ】ネフローゼ症候群
大田 敏之	（県立広島病院小児腎臓科）	【予定テーマ】輸液・血液ガス

＜チューター＞

田村 啓成	（秋田大学小児科）
橋本多恵子	（山形大学小児科）
山田 剛史	（新潟大学小児科）
吉田 真	（佐野厚生総合病院小児科）
石塚喜世伸	（東京女子医科大学腎臓小児科）
梶保 祐子	（東京大学小児科）
寺野千香子	（あいち小児保健医療総合センター腎臓科）
藤丸 季可	（大阪市立総合医療センター 小児総合診療科）
石森 真吾	（愛仁会高槻病院小児科）

第13回日本小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

パワーアップセミナーは、小児腎臓病学会教育委員会が、若手小児腎臓医の育成プログラムの一環として年に一度1泊2日で全国各地で開催してきました。今回は13回目の開催で、本来仙台にて開催予定でありましたが、情勢を鑑みて初めてのWeb開催となります。講義形式のセミナーでは“小児腎をマスターする”ことは困難です。そこで、本セミナーでは実践的な症例から多くの問題を抽出しながら自主的に学んでいくというチュートリアル形式で行います。これをより効果的にするためには、オンラインで事前学習を十分に行うことが必要です。この事前学習により、自分のレベルに合わせた勉強の進め方ができますので、小児腎臓医としての経験年数は参加条件にはしていません。学習意欲さえあれば経験値がまだ低い方でも、十分にセミナーの醍醐味を体験できると思います。

◆このセミナーには以下のようなメリットがあります

1. ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の4つのうちから自分の希望で受講科目を選択できる(場合によっては第二希望になることもあります)。
2. 教育委員会で作成した良質の症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができる。
3. 少数で構成されるグループ学習を通して、いろいろな経験やレベルの小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができる。
4. 小児腎臓医として必要なスキルに密接に関連する教育講演を受けることができる。
5. セミナー内での交流を通して、学会のメンバーと縦横の繋がりを持つことができる。

◆「参加者の心得」

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画的に行いますので、受講者はメールへの回答やレポート提出期限の厳守をお願い致します。

セミナー受講に関しては、チューターや講師は基本的にはボランティアで参加します。また、Web開催にかかる準備は担当施設の学会員（菅原典子先生：東北大学）および教育委員会メンバーで行いますが、初めてのWebでの開催でもあり、多少の不便などあるかもしれません。この点もご理解頂きたいと思います。

若手の意欲のある先生方と、小児腎臓学の大切さ、面白さを分かち合い、実りのあるセミナーにしていきたいと思っております。奮ってご応募ください。

日本小児腎臓病学会 教育委員会委員長 池住 洋平

